

建交労 ひかい

2024年7月号

発行：建交労 No.244

岐阜農林建設連合支部

〒501-4234

郡上市八幡町五町1-4-15

電話 0575-67-1582

FAX 0575-67-2101

すべての労災・職業病の根絶をめざす



トンネルじん肺根絶記念誌

『いのちの絆3』

出版記念祝賀会が開催されました！

写真上：祝賀会翌日に行われた国会議員要請行動で、金子事務所を訪れ『いのちの絆3下』を手渡した後、記念撮影しました。

6月18日から19日の2日間、「トンネルじん肺根絶記念誌『いのちの絆3』

出版記念祝賀会と国会議員要請行動」が東京でおこなわれ、三井金属神岡鉱山じん肺訴訟第3陣代表の長田欣亮さんと参加しました。

『いのちの絆3』出版記念祝賀会は、日本のホテル御三家ともいわれるホテルニューオータニの宴会場でおこなわれました。

このホテルは、江戸城の外堀にあたる場所にあり、江戸時代の加藤清正や井伊家の庭園跡を利用して広さ1万坪にもおよぶ日本庭園があり、この日も多くの外国人観光客が列をなしていました。ところが、宴会場は地下にあったことから超有名な日本庭園を眺めることができませんでした。

トンネルじん肺は、

「あやまれ、

つぐなえ、

なくせじん肺」のスローガンのもと、30年をたたかい抜き今日の裁判をやれば確実に勝てる状況をつくっています。祝賀会では原告のみなさんが「『いのちの絆3』が裁判をしなくても、健康被害を補償する基金制度が創設されるきっかけにしたい。」と語っておられたことが心に残りました。

2日目は国会議員要請です。岐阜県からの参加者は北海道と岐阜県内の国会議員(衆議院)の議員会館内の各事務所を直接訪問し、『いのちの絆3』を贈呈するとともにじん肺基金創設を要請しました。

各事務所とも国会開催中ということで議員本人は不在でしたが、応対してくれた秘書の方は、道路やダムでのトンネル建設といった公共事業のために健康被害をうけるという理不尽に理

解を示し、「要請の趣旨はしつかり議員に伝えます。」と約束してくれました。

岐阜県本部

執行委員長

山田 透



今年も頑張ろう！

2024年(第35回)

なくせじん肺全国キャラバン

6月15日、なくせじん肺全国キャラバンの第3回実行委員会が開かれました。リモートで参加しました。

最初に全国トンネルじん肺根絶訴訟・建設アスベスト訴訟など、全国で係争中の裁判の状況と運動について報告がありました。

私たちは三井金属神岡鉱山じん肺第3陣訴訟について報告を行いました。

その後、各ブロックの行動について、現在の準備状況やどういった取り組みを行うのか話し合いました。

今年度は特に建物改修解体に関する助成金等についての取り組みを全国で行うことを確認しました。

アスベスト被害を根絶するために、改修解体から飛散するアスベストを封じ込めることは必須の条件です。

今後、アスベスト含有の建築物の解体がピークを迎えますが、アスベスト対策がなされず解体されるケースがみられ大きな社会問題となっています。アスベスト対策を実施せずに解体される原因の一つが、アスベ

スト対策を実施した解体の費用が高額になることです。

国が、アスベスト被害が出ることを予見しながら、輸入を進めてきたのですから、本来であれば、撤去の費用を国が全額負担すべきです。

しかし、現実には、一部の自治体でアスベスト含有調査や解体の費用の一部を負担する制度しか設けられていません。

今年のキャラバンでは、助成金の拡充を強く求めていきます。

尾形行政訴訟

傍聴応援、よろしくお願いします！

7月8日(月) 13時10分より

岐阜地方裁判所 304号法廷にて

2024年6月の活動報告

6/1	転院付添	@みどり病院
6/5	審査請求打ち合わせ	@組合事務所
6/7	神岡じん肺訴訟 闘争本部会議	@郡上市文化センター
6/12	第7回執行委員会	@組合事務所
6/13	主治医面談	@東濃厚生病院
6/14	審査請求聞き取り	@岐阜労働局
6/15	なくせじん肺全国キャラバン実行委員会	@リモート参加
6/16	疫学リサーチセンター総会	@リモート参加
6/18~6/19	トンネルじん肺出版記念祝賀会	@東京
6/25	主治医面談	@ながら医療センター
6/30	岐阜県母親大会	@恵那文化センター

2024年8月の予定

7/4	第8回執行委員会	
7/8	尾形行政訴訟 弁論 午後1時10分～	@岐阜地方裁判所
7/9	神岡じん肺訴訟 弁護団会議	@リモート参加
7/9~10	トンネルじん肺根絶ゼネコン要請	@東京都内

編集後記

雨にぬれるアジサイって本当に風情があるなあ、毎日の雨で野菜たちもすくすく成長しているような…そう、梅雨が大切なことはよく分かっていますとも！

でも、でもジメジメしたこの季節って本当に嫌なのです。梅雨になると毎年おこる肋間神経痛の痛みで安眠もできず、ぼろぼろの体を引きずって出勤したところ、車から降りたときたん腰にズコンと鋭い痛みが！こいつはぎっくり腰だとすぐに分かりましたよ、経験者ですもの。

前回は神岡じん肺の高裁結審の日だったので日にちまで覚えていた。

泣きながら（本当に涙が出た）自宅に戻って、ベッドまで這いつくばって辿りついたら、もう動けません。固まった姿勢のまま夫を呼ぶ。痛いと言まで擦れてしまい、何度か呼んでやっと現れた夫は「なんや、腰か。年よりなんやで気を付けんと。」と冷たい。それでも食事からトイレまで、なんとか介抱してくれた。そのお陰でもないと思うが、3日ぐらいいしてやっと動けるようになった。「あんたってさあ、病人のお世話ヘタだよ、動かされる時、すごく痛かったよ。」とぼろつと言ったら「こっちこそ、こうやって介護しないかんようになるって、げっそりしたわ。」とものすごく嫌な顔をされた。仲良しの私たちです。